

平成22年度

徳島大学大学院先端技術科学教育部

博士前期課程

第2次学生募集要項

(一般入試・社会人特別入試)

# 入試関係日程

募集要項公表	10月中旬頃
入学資格の資格審査書類提出	11月4日(水)
障がいがある入学志願者の事前相談	11月4日(水)
出願期間	11月24日(火)から11月26日(木)
試験日	12月11日(金)
合格発表	12月24日(木)
入学手続	2月中旬手続書類送付 手続は3月上旬予定

問合せ先等

〒770-8506

徳島市南常三島町2-1

徳島大学工学部学務係

Tel 088-656-7315~7317

Fax 088-656-2158

<http://www.e.tokushima-u.ac.jp>

## 大学院先端技術科学教育部博士前期課程アドミッションポリシー

<b>建設創造システム工学コース</b>
生活・生産基盤施設，交通施設，防災施設，環境保全施設等の調査・解析・計画，設計・施工・運用システムおよび維持管理に関わる技術を研究するのに必要な基礎学力を持つ学生を求めています。 キーワード： 自然環境や公共空間に関する興味 数理解析や論理思考を伴う創造力 チャレンジ精神と行動力
<b>機械創造システム工学コース</b>
機械工学に関する基礎学力を有し，より高い専門性と幅広い専門基礎の素養を身に付けたい優秀な学生を求めています。 キーワード： 機械工学へのあくなき探求心
<b>化学機能創生コース</b>
化学及び化学技術に関する幾つかのことを深く探究し，その成果を社会に還元させることにより産業界の要請に答えることのできる学生を求めています。 キーワード： 探究心，積極性，創意工夫
<b>生命テクノサイエンスコース</b>
生物工学技術者・研究者をめざし，本コースに強い入学意欲を持った向学心の旺盛な学生を求めています。 キーワード： 生命に対する深い興味 柔軟かつ独創的な発想 強い目的意識と向上心
<b>エコシステム工学コース</b>
自然・社会環境からなるエコシステムでの，エネルギー - 循環，環境低負荷，安全安心な社会環境，リスク管理，人間支援に関する技術開発や政策課題に取り組む強い意欲を持つ学生を求めています。 キーワード： エコシステムに関する洞察力と探究心 国際性 課題解決に対する自主性，独創性，チャレンジ精神
<b>電気電子創生工学コース</b>
電気電子工学に関する課題を，幅広い視野と論理的な思考で解決し，地域社会，国際社会に貢献できる技術者を育成するため，勉学に強い意欲を持った学生を求めています。 キーワード： 創造性に富んだチャレンジ精神 国際的なコミュニケーション能力 チームでの課題解決能力
<b>知能情報システム工学コース</b>
知能情報工学の技術者としての標準的水準の能力を持ち，広い視野と自律的に行動できる能力を持つ国内外の社会に貢献できる人材を育成するために，基礎学力と旺盛な勉学意欲を持つ学生を求めています。 キーワード： 知能情報工学の専門知識と技術力 論理的分析・思考・表現・解決力 自発的学習力と共同作業の協調力
<b>光システム工学コース</b>
光技術の専門家として国際的に通用する活力のある自立的な技術者を育成します。基礎学力を身につけた積極的な学生を求めます。 キーワード： 光工学の基礎学力 国際的なコミュニケーション能力 旺盛な好奇心

# 一般入試

## 1 募集人員

専攻	コース	募集人員	講座内容
知的力学システム工学専攻	建設創造システム工学コース	若干人	建設構造工学 環境整備工学 社会基盤工学 社会システム工学
環境創生工学専攻	化学機能創生コース	若干人	物質合成化学 物質機能化学 化学プロセス工学
	エコシステム工学コース		資源循環工学 社会環境システム工学 海洋環境工学（連携講座）
システム創生工学専攻	電気電子創生工学コース	若干人	物性デバイス 電気エネルギー 電気電子システム 知能電子回路 電気エネルギー（連携講座）
	知能情報システム工学コース		基礎情報工学 知能工学
	光システム工学コース		光機能材料 光情報システム

## 2 出願資格

出願することができる者は、次のいずれか一つに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履習することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
  - 一 旧大学令（大正七年勅令第三百八十八号）による大学を卒業した者
  - 二 旧高等師範学校規程（明治二十七年文部省令第十一号）による高等師範学校専攻科を卒業した者
  - 三 旧師範教育令（昭和十八年勅令第九号）による高等師範学校又は女子高等師範学校の修業年限一年以上の研究科を修了した者
  - 四 旧中等学校令（昭和十八年勅令第三十六号）による中学校若しくは高等女学校を卒業した者又は旧専門学校入学者検定規程（大正十三年文部省令第二十二号）により、これと同等以上の学力を有するものと検定された者を入学資格とする旧専門学校令（明治三十六年勅令第六十一号）による専門学校（以下「専門学校」という。）で修業年限（予科の修業年限を含む。以下同じ。）五年以上の専門学校を卒業した者又は修業年限四年以上の専門学校を卒業し修業年限四年以上の専門学校に置かれる修業年限一年以上の研究科を修了した者
  - 五 防衛省設置法（昭和二十九年法律第六十四号）による防衛大学校又は防衛医科大学校を卒業した者
  - 六 独立行政法人水産大学校法（平成十一年法律第九十一号）による水産大学校（旧農林水産省設置法（昭和二十四年法律

第五十三号)、旧農林水産省組織令(昭和二十七年政令第三百八十九号)及び独立行政法人国立公文書館等の設立に伴う関係政令の整備等に関する政令(平成十二年政令第三百三十三号)による改正前の農林水産省組織令(平成十二年政令第二百五十三号)による水産大学校を含む。)を卒業した者(旧水産庁設置法(昭和二十三年法律第七十八号)による水産講習所を卒業した者を含む。)

- 七 国土交通省組織令(平成十二年政令第二百五十五号)による海上保安大学校(国家行政組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律(昭和五十八年法律第七十八号)による改正前の海上保安庁法(昭和二十三年法律第二十八号)及び旧運輸省組織令(昭和五十九年政令第七十五号)による海上保安大学校を含む。)を卒業した者
  - 八 職業能力開発促進法(昭和四十四年法律第六十四号)による職業能力開発総合大学校の長期課程を修了した者(旧職業訓練法(昭和三十二年法律第三十三号)による中央職業訓練所又は職業訓練大学校の長期指導員訓練課程を修了した者、職業訓練法の一部を改正する法律(昭和六十年法律第五十六号)による改正前の職業訓練法(昭和四十四年法律第六十四号)による職業訓練大学校の長期指導員訓練課程を修了した者、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成四年法律第六十七号)による改正前の職業能力開発促進法による職業訓練大学校の長期課程を修了した者及び職業能力開発促進法及び雇用促進事業団法の一部を改正する法律(平成九年法律第四十五号)による改正前の職業能力開発促進法による職業能力開発大学校の長期課程を修了した者を含む。)
  - 九 国土交通省組織令による気象大学校(旧運輸省設置法(昭和二十四年法律第五十七号)及び旧運輸省組織令による気象大学校を含む。)の大学部を卒業した者
  - 十 教育職員免許法(昭和二十四年法律第四百七十七号)による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で二十二歳に達したもの
  - 十一 旧国立養護教諭養成所設置法(昭和四十年法律第十六号)による国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者
  - 十二 旧国立工業教員養成所の設置等に関する臨時措置法(昭和三十六年法律第八十七号)による国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び三年以上教諭として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (8) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本教育部が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたる者
- (9) 本教育部において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者
- ただし平成22年3月に大学3年以上在学するものが出願する場合は10月中旬の募集要項により公表予定なので、それにしたがってください。
- (注1) 出願資格(8)~(9)により出願を希望する者は、「最終学歴の卒業証明書」、「最終学歴の成績証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書」(本教育部所定の用紙)及び「研究業績調書」(本教育部所定の用紙)を11月4日(水)までに学務係へ提出してください。
- (注2) 上記(9)に該当する者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校(出願資格(7)を除く)及び各種学校の卒業者その他の教育施設の修了者で22歳に達した者」です。

### 3 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び面接の結果と出身大学(学部)長の提出する成績証明書を総合して判定します。

#### (1) 検査科目

コ ー ス	検 査 科 目
建設創造システム工学 コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学(線形代数学, 微分積分学, 微分方程式)</li> <li>・専門科目(構造力学, 水理学, 土質力学, 材料学及び鉄筋コンクリート力学, 土木計画, 生態系工学, シミュレーション数理)の7科目から1科目選択(出願時選択)</li> </ul>
化学機能創生コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学(微分積分学, 微分方程式)又は物理学(量子論, 量子力学)</li> <li>・英語(TOEIC又はTOEFLの成績)</li> <li>・専門科目(無機化学, 有機化学, 物理化学, 化学工学)</li> </ul>

	・面接
エコシステム工学コース	・英語
	・面接
電気電子創生工学コース	・数学（線形代数学，微分積分学，微分方程式）
	・英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）
	・面接
知能情報システム工学コース	・専門科目（電子・集積回路，マイクロプロセッサ，データ構造とアルゴリズム，オートマトン・言語理論，離散数学とグラフ理論，情報通信理論，プログラミング方法論，人工知能，画像処理工学，言語工学，数学，英語の1 2科目から3科目選択（出願時選択））
	・面接
光システム工学コース	・数学（線形代数学，微分積分学，微分方程式，複素関数論，ベクトル解析）
	・英語（TOEIC 又は TOEFL の成績）

（注）

- 1 数学，物理の出題の目安は概ねで標記しています。
- 2 専門科目は，化学機能創生コースを除き口述形式です。化学機能創生コースは筆記試験を行います。
- 3 面接は卒業研究及び入学後の学修計画について行います。

（2）試験日時及び場所

コ ー ス	試 験 日				場 所
	1 2 月 1 1 日（金）				
建設創造システム工学コース	数学	9:00～10:30	専門科目	13:00～	徳島市南常三島町 2 - 1 工学部講義室 配置を参照
化学機能創生コース	数学又は物理学	9:00～10:00	専門科目2（筆記） （物理化学， 化学工学）	13:30～15:30	
	専門科目1（筆記） （無機化学， 有機化学）	10:30～12:30	面接	16:30～	
エコシステム工学コース	英語	9:00～11:00	面接	13:00～	
電気電子創生工学コース	数学	9:00～10:30	面接	13:00～	
知能情報システム工学コース	専門科目及び面接	9:00～			
光システム工学コース	数学	9:00～11:00			

（注）

- 1 筆記試験においては，試験開始後30分以上経過した遅刻者は，受験できません。
- 2 筆記試験においては，試験開始から終了まで退出は認めません。

#### 4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で特別な配慮を必要とする場合は，次のとおり工学部学務係に申し出てください。

（1）時期

平成21年11月4日(水)まで

（注）特別措置等の方法を検討する必要がありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

（2）方法

次の～を記載した書類（様式は任意）を提出してください。

氏名，生年月日

志望専攻，コース

現住所，電話番号及び保護者の連絡先

障がいの種類，程度（後日，健康診断書の提出を依頼する場合があります。）

受験の際に特別な配慮を希望する事項及び内容

出身学校在学中にとられていた特別措置及び出身学校名

日常生活の状況等

## 5 出願手続

### (1) 願書受付期間及び出願方法

#### 願書受付期間

平成21年11月24日(火)から平成21年11月26日(木)17時まで(必着・郵送を含む。)

(受付時間：9時～17時 ただし12時～13時を除きます。)

#### 出願方法

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用してください。

なお、郵送の際は、必ず「書留速達」としてください。

#### 提出先

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部学務係

電話 088 656 7315,7317 Fax 088 656 2158

#### 募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は、あて名を明記し、390円切手を貼った返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封してください。

出願手続き等に不明の点がある場合は、工学部学務係に照会してください。

### (2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法, 注意事項等
入学願書 受験票, 写真票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。 受験票及び写真票には上半身, 脱帽, 正面向きで同一の写真(縦4cm×横3cm, 最近撮影した本人確認が可能なもの)をはってください。
あて名票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
卒業(見込)証明書	本工学部出身者	不要。
	上記以外	必要。なお, 出願資格(2)に該当する者は, 大学評価・学位授与機構が発行した証明書を添付してください。(短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の学位取得見込者は学(校)長の証明する修了見込証明書及び学位授与申請予定証明書を添付してください。)
成績証明書	本年度本工学部 卒業見込者	不要。
	上記以外	必要。出身大学(学部)長が作成し, 厳封したもの。 なお, 短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を修了又は修了見込み者は本科の成績証明書も合わせて添付してください。
学修したい研究課題 又は研究分野の概要	全員	所定の用紙に博士前期課程で学修したい研究課題又は研究分野について1,000字程度にまとめてください。
推薦書	任意	所定の用紙に必要事項を記入した指導教員の推薦書
TOEIC又はTOEFL 成績証明書	化学機能創生コース, 電気電子創生工学コース, 光システム工学コース への志願者	TOEICは"Official Score Certificate"(公式認定書), TOEFLは"Examinee's Score Record"の原本を出願時に提出するものとし, 団体受験用のTOEIC(IP)及びTOEFL(ITP)のスコアは受け付けません。
受験許可証	現に大学院在学中 の者, 官公庁及び会 社に在職中の者	所定の用紙に所属長の許可を得て提出。

検定料払込証明書	全 員	検定料は30,000円です。所定の用紙により、検定料を最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局窓口から払い込んでください。ゆうちょ銀行又は郵便局で検定料振込時に受領した「検定料払込証明書（志願者用）」を「検定料払込証明書（本学所定）」にはって提出してください。
受験票送付用封筒	全 員	所定の封筒に、受領する場所の郵便番号、住所、氏名を明記し、 <b>350円分</b> の郵便切手を所定の箇所にはってください。

### (3) 出願に際しての注意

願書受付期間を過ぎて到着した出願書類は受理しません。郵送の場合は郵送期間を十分考慮のうえ、送付してください。

出願書類等に不備がある場合は、受理しません。また、出願後は、原則として記載事項の変更を認めません。

出願書類を受け付けた受験者に対しては、後日試験室の案内とともに受験票を送付します。

受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。

出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

出願後、「合格通知送付先」に変更があった場合には、速やかに連絡してください。

## 6 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに、合格者あてに文書で通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

場 所	発 表 日 時	発 表 方 法
工 学 部	平成21年12月24日(木) 9時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部正門掲示板にて掲示</li> <li>・工学部ホームページ(下記URL)にて掲載 <a href="http://www.e.tokushima-u.ac.jp/">http://www.e.tokushima-u.ac.jp/</a></li> </ul>

### 入学許可の取消し

合格者が、入学手続き完了後に、見込まれていた入学資格を取得できなかった場合等には、入学許可を取り消します。

## 7 入学手続

入学手続の必要書類については、平成22年2月中旬に本人あてに通知します。

### 授業料等学生納付金

(1) 入 学 料                    282,000円

(2) 授 業 料    前期分    267,900円

年 額    535,800円

(注1) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付できます。

(注4) 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(3) その他の経費として後援会費、工業会費(本工学部出身者は不要)、学生教育研究災害傷害保険料等若干の経費が必要です。

## 8 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。

入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務。

合格者の入学後の教務関係(学籍管理、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金援助、就職支援等)、授業料等に関する業務。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究(入試の改善や志願動向の調査、分析等)のために利用します。





## 社会人特別入試

本教育部においては、官公庁、企業等に勤務している社会人の高等教育への要望に対応し、開かれた教育部として社会に役立つ研究と技術開発の推進を計るため、本教育部に社会人を受け入れることを実施しています。

また本工学部では、社会人及び短期大学・高等専門学校卒業生の3年次編入学制度を実施しており、この制度と本教育部との連携も可能です。さらに、博士前期課程に引き続き、博士後期課程への進学も可能です。

本教育部（博士前期課程）では、このような趣旨から、別途、学生募集要項を定めて特別入試による社会人学生を受け入れています。また、この入試により入学した者に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を受けることも可能です。（後掲、参照）

### 1 募集人員

専攻	コース	募集人員	講座内容
知的力学システム工学専攻	建設創造システム工学コース	若干人	建設構造工学 環境整備工学 社会基盤工学 社会システム工学
環境創生工学専攻	エコシステム工学コース	若干人	資源循環工学 社会環境システム工学 海洋環境工学（連携講座）
システム創生工学専攻	電気電子創生工学コース	若干人	物性デバイス 電気エネルギー 電気電子システム 知能電子回路 電気エネルギー（連携講座）
	知能情報システム工学コース		基礎情報工学 知能工学
	光システム工学コース		光機能材料 光情報システム

### 2 出願資格

官公庁、企業、教育機関等に原則として1年以上正規職員として在職し、次のいずれか一つに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成22年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成22年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履習することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成22年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
  - 一 旧大学令（大正七年勅令第388号）による大学を卒業した者
  - 二 旧高等師範学校規程（明治二十七年文部省令第十一号）による高等師範学校専攻科を卒業した者
  - 三 旧師範教育令（昭和十八年勅令第99号）による高等師範学校又は女子高等師範学校の修業年限一年以上の研究科を修了した者
- 四 旧中等学校令（昭和十八年勅令第36号）による中学校若しくは高等女学校を卒業した者又は旧専門学校入学者検定規程（大正十三年文部省令第二十二号）により、これと同等以上の学力を有するものと検定された者を入学資格とする旧専門学校令（明治三十六年勅令第61号）による専門学校（以下「専門学校」という。）で修業年限（予科の修業年限を含む）

以下同じ。)五年以上の専門学校を卒業した者又は修業年限四年以上の専門学校を卒業し修業年限四年以上の専門学校に置かれる修業年限一年以上の研究科を修了した者

五 防衛省設置法(昭和二十九年法律第百六十四号)による防衛大学校又は防衛医科大学校を卒業した者

六 独立行政法人水産大学校法(平成十一年法律第百九十一号)による水産大学校(旧農林水産省設置法(昭和二十四年法律第百五十三号)、旧農林水産省組織令(昭和二十七年政令第百八十九号)及び独立行政法人国立公文書館等の設立に伴う関係政令の整備等に関する政令(平成十二年政令第百三十三号)による改正前の農林水産省組織令(平成十二年政令第百五十三号)による水産大学校を含む。)を卒業した者(旧水産庁設置法(昭和二十三年法律第七十八号)による水産講習所を卒業した者を含む。)

七 国土交通省組織令(平成十二年政令第百五十五号)による海上保安大学校(国家行政組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律(昭和五十八年法律第七十八号)による改正前の海上保安庁法(昭和二十三年法律第二十八号)及び旧運輸省組織令(昭和五十九年政令第百七十五号)による海上保安大学校を含む。)を卒業した者

八 職業能力開発促進法(昭和四十四年法律第六十四号)による職業能力開発総合大学校の長期課程を修了した者(旧職業訓練法(昭和三十三年法律第百三十三号)による中央職業訓練所又は職業訓練大学校の長期指導員訓練課程を修了した者、職業訓練法の一部を改正する法律(昭和六十年法律第五十六号)による改正前の職業訓練法(昭和四十四年法律第六十四号)による職業訓練大学校の長期指導員訓練課程を修了した者、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成四年法律第六十七号)による改正前の職業能力開発促進法による職業訓練大学校の長期課程を修了した者及び職業能力開発促進法及び雇用促進事業団法の一部を改正する法律(平成九年法律第四十五号)による改正前の職業能力開発促進法による職業能力開発大学校の長期課程を修了した者を含む。)

九 国土交通省組織令による気象大学校(旧運輸省設置法(昭和二十四年法律第百五十七号)及び旧運輸省組織令による気象大学校を含む。)の大学部を卒業した者

十 教育職員免許法(昭和二十四年法律第百四十七号)による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で二十二歳に達したもの

十一 旧国立養護教諭養成所設置法(昭和四十年法律第十六号)による国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許状による中学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者

十二 旧国立工業教員養成所の設置等に関する臨時措置法(昭和三十六年法律第八十七号)による国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び三年以上教諭として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者

(8) 本教育部において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成22年3月31日までに22歳に達する者

(注1) 上記(8)により出願を希望する者は、「最終学歴の卒業証明書」及び「最終学歴の成績証明書」及び「入学試験出願資格認定審査調書」(本教育部所定の用紙)及び「研究業績調書」(本教育部所定の用紙)を1月4日(水)までに学務係へ提出してください。

(注2) 上記(8)に該当する者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校(出願資格(7)を除く)及び各種学校の卒業者その他教育施設の修了者で22歳に達した者」です。

### 3 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び面接の結果と成績証明書、推薦書、業績報告書を総合して判定します。

#### (1) 検査科目

コース	検査科目
建設創造システム工学コース	・専門科目(構造力学、水理学、土質力学、材料及び鉄筋コンクリート工学、土木計画、生態系工学、シミュレーション数理)の7科目から1科目選択(出願時選択) ・面接
エコシステム工学コース	・面接
電気電子創生工学コース	・英語(TOEIC又はTOEFLの成績) ・専門科目(電気数学) ・面接
知能情報システム工学	・面接

コース	・専門科目（電子・集積回路，マイクロプロセッサ，データ構造とアルゴリズム，オートマトン・言語理論，離散数学とグラフ理論，情報通信理論，プログラミング方法論，人工知能，画像処理工学，言語工学，数学，英語の12科目から3科目選択（出願時選択））
光システム工学コース	・英語（TOEIC 又は TOEFL の成績） ・面接

（注）

- 1 専門科目は，化学機能創生コースを除き口述形式です。化学機能創生コースは筆記試験を行います。
- 2 面接は提出された業績報告書，学修したい研究課題又は研究分野の内容等について面接による試験を行い，選抜判定の資料とします。

（2）試験日時及び場所

コース	試験日			場所
	12月11日（金）			
建設創造システム工学コース	専門科目及び面接	9:00～		徳島市南常三島町 2 - 1 工学部講義室配置 を参照
エコシステム工学コース	面接	13:00～		
電気電子創生工学コース	専門科目	9:00～	面接 13:00～	
知能情報システム工学コース	専門科目及び面接	9:00～		
光システム工学コース	面接	9:00～		

（注）

- 1 筆記試験においては，試験開始後30分以上経過した遅刻者は，受験できません。
- 2 筆記試験においては，試験開始から終了まで退席は認めません。

#### 4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上で特別な配慮を必要とする場合は，次のとおり工学部学務係に申し出てください。

（1）時期

平成21年11月4日（水）まで

（注）特別措置等の方法を検討する必要がありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

（2）方法

次の～を記載した書類（様式は任意）を提出してください。

氏名，生年月日

志望専攻，コース

現住所，電話番号及び保護者の連絡先

障がいの種類，程度（後日，健康診断書の提出を依頼する場合があります。）

受験の際に特別な配慮を希望する事項及び内容

出身学校在学中にとられていた特別措置及び出身学校名

日常生活の状況等

#### 5 出願手続

（1）願書受付期間及び出願方法

願書受付期間

平成21年11月24日（火）から平成21年11月26日（木）17時まで（必着・郵送を含む。）

（受付時間：9時～17時 ただし12時～13時を除く。）

出願方法

出願書類等は本募集要項添付の封筒を使用してください。

なお，郵送の際は，必ず「書留速達」としてください。

提出先

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部学務係

電話 088 656 7315,7317 Fax 088 656 2158

募集要項の請求

願書を郵便で請求する場合は，あて名を明記し，390円切手を貼った返信用封筒（角2封筒33.2cm×24.0cm）を同封してください。

出願手続き等に不明の点がある場合は，工学部学務係に照会してください。

(2) 出願書類等

書類等の種別	該当者	記入方法，注意事項等
入学願書 受験票，写真票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。 受験票及び写真票には上半身，脱帽，正面向きで同一の写真（縦4cm×横3cm，最近撮影した本人確認が可能なもの）をはってください。
あて名票	全員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
卒業（見込）証明書	全員	出願資格(2)に該当する者は，大学評価・学位授与機構が発行した証明書を添付してください。なお，見込みの者は，学位授与申請予定証明書を添付してください。
成績証明書	全員	全学年について出身大学（学部）長が作成し，厳封したもの
学修したい研究課題 又は研究分野の概要	全員	所定の用紙に博士前期課程で学修したい研究課題又は研究分野について1,000字程度にまとめてください。
推薦書	官公庁及び会社に在職中の者	所定の用紙に本人の勤務する職場の所属長が作成したもの。
TOEIC又はTOEFL成績証明書	電気電子創生工学コース，光システム工学コースへの志願者	TOEIC は"Official Score Certificate"(公式認定書)，TOEFL は"Examinee's Score Record"の原本を出願時に提出するものとし，団体受験用のTOEIC(IP)及びTOEFL(ITP)のスコアは受け付けません。
在職中の業績報告書	全員	所定の用紙にこれまでの業績を1,000字程度にまとめてください。
検定料払込証明書	全員	検定料は30,000円です。所定の用紙により，検定料を最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局窓口から払い込んでください。ゆうちょ銀行及び郵便局で検定料振込時に受領した「検定料払込証明書（志願者用）」を「検定料払込証明書（本学所定）」にはって提出してください。
受験票送付用封筒	全員	所定の封筒に，受領する場所の郵便番号，住所，氏名を明記し，350円分の郵便切手を所定の箇所にはってください。

(3) 出願に際しての注意

願書受付期間を過ぎて到着した出願書類は受理しません。郵送の場合は郵送期間を十分考慮のうえ，送付してください。

出願書類等に不備がある場合は，受理しません。また，出願後は，原則として記載事項の変更を認めません。

出願書類を受け付けた受験者に対しては，後日試験室の案内とともに受験票を送付します。

受理した出願書類及び入学検定料は，返還しません。

出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

出願後，「合格通知送付先」に変更があった場合には，速やかに連絡してください。

## 6 合格者の発表

合格者の受験番号を次のとおり発表するとともに、合格者あてに文書で通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

場 所	発 表 日 時	発 表 方 法
工 学 部	平成21年12月24日(木) 9時	・工学部正門掲示板にて掲示 ・工学部ホームページ(下記URL)にて掲載 <a href="http://www.e.tokushima-u.ac.jp/">http://www.e.tokushima-u.ac.jp/</a>

### 入学許可の取消し

合格者が、入学手続き完了後に、見込まれていた入学資格を取得できなかった場合等には、入学許可を取り消します。

## 7 入学手続

入学手続の必要書類については、平成22年2月中旬に本人あてに通知します。

### 授業料等学生納付金

(1) 入 学 料                    282,000円

(2) 授 業 料    前期分    267,900円

年 額    535,800円

(注1) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に、後期分も合わせて納付できます。

(注4) 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(3) その他の経費として後援会費、工業会費(本工学部出身者は不要)、学生教育研究災害傷害保険料等若干の経費が必要です。

## 8 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理します。

入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務。

合格者の入学後の教務関係(学籍管理、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金援助、就職支援等)、授業料等に関する業務。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究(入試の改善や志願動向の調査、分析等)のために利用します。

## 9 学修と研究及び教育方法の特例について

### 学修と研究について

入学後は学則に定められた教育課程に基づき、原則として教育部担当教員の指導の下で、学修と研究に専念するものとします。

なお、入学後の身分(現職、休職)は、当該官公庁・企業等の定めるところによることとし、専攻・コースによっては、勤務地等が通学可能距離にある場合、昼夜開講等弾力的に対処する場合があります(下記の特例による教育参照)。また、修士論文を作成する場合、指導教員の許可を受け、かつ、その指導の下で、勤務先での研究課題を取り上げ、その設備、機器等を使用して研究を行うことも場合により可能です。

### 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人研究者・技術者が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大

学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

### **長期履修学生制度について**

学生が職業を有しているなどの事情により、通常の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られるため、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者に対して、申請に基づき、大学が審査し、その長期にわたる計画的な履修を認め、その在学期間中の授業料の負担を軽減することができる制度です。詳細は工学部学務係に照会してください。